

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 6月25日更新

事務事業名	下水道汚水建設改良事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画	政策	4	生活環境の健康		所属部	水道局	課長名	坂本 卓博
	施策	20	水の安定供給と排水の浄化		所属課	下水道課	担当者名	浪崎弘太郎、府内貴生
体系	施策の柱	61	排水の浄化		所属班	下水道班	(内線)	5284
予算科目	会計企業	款 2	項 1	目 2	事業連番 10242 他	根拠法令	下水道法 合志市下水道条例	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	公共による下水道の普及率を高めるとともに、生活環境の改善および公衆衛生の向上を図り、公共用水域の水質保全を目的として下水道管渠を整備する事業である。S52年に単独公共下水道、S58年に特定環境保全公共下水道、S59年に流域関連公共下水道の事業認可を受けて事業着手した。単独公共下水道は、平成27年度末に須屋浄化センターを廃止し、熊本北部流域下水道に接続した。平成27年度に市生活排水処理構想(10カ年計画)を策定し、未整備地区へ市設置型合併浄化槽による水洗化の促進を図ることとしている。 事業開始から30年以上経過し、下水道施設の老朽化が進んでいることから、国が定めた基準による長寿命化計画(5カ年)を策定し、国庫補助金を活用した施設老朽化対策を実施してきた。平成30年度から2カ年で国が定めた新たな基準による施設ストックマネジメント計画を策定しており、今後も国庫補助金を活用しながら、施設の老朽化への対策を実施する。
【業務の流れ】	下水道事業認可区域の管渠整備 ①測量設計委託契約②実施設計書の作成③道路占用申請④工事請負契約の締結⑤下水道管渠工事⑥しゅん工検査⑦支払事務 ストックマネジメント計画による改築更新 ①調査・点検②ストックマネジメント計画(5カ年)③補助申請④実施設計⑤改築更新工事⑥しゅん工検査⑦支払事務⑧実績報告
【主な予算費目】	委託料、工事請負費、負担金
【意見や要望】	施設の維持管理メンテナンス業者から老朽化する施設の改築更新をすすめてほしいとの要望がでている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	塩浸川浄化センター4池目増設工事、下水道施設ストックマネジメント実施計画策定、汚水幹線等管渠築造工事、汚水幹線管渠更生工事ほかを行った	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 塩浸川浄化センター4池目増設工事、電気設備工事、マンホールポンプ場改築工事、汚水幹線管渠更生工事、ストックマネジメント計画に基づく調査及び点検、中継ポンプ場耐震診断ほか
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由 ア: 管渠布設延長 m イ: 整備面積 ha	工事費の増(4系列目)
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	・公共下水道事業区域で整備した世帯 ・公共下水道事業区域の世帯からの生活雑排水	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア: 対象世帯数 戸 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・水洗化が可能となる ・生活環境の改善	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア: 下水道普及率(区域内人口普及率) % イ: 水洗化率 %
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠 下水道管渠築造工事を行い普及率を高めることで、整備区域内世帯の水洗化が可能となるため。また、水洗化率の向上は、生活環境の改善につながるため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込		
① 活動指標	ア	m	253	246	300	607	100	100	100	100		
	イ	ha	2.1	0	0.5	0.2	0	0	0	0		
② 対象指標	ア	戸	1	39	50	72	50	50	50	50		
	イ											
③ 成果指標	ア	%	98.97	99.05	99.86	98.09	99.87	99.88	99.89	99.9		
	イ	%	95.82	95.88	95.89	95.94	95.9	95.91	95.92	95.93		
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円	105,449	108,090	162,250	124,467	183,400	180,000	159,000	159,000	
		都道府県支出金	千円	4,000								
		地方債	千円	154,100	98,500	127,900	107,100	200,900	200,000	200,000	200,000	
		その他	千円	32,795	40,396	75,132	56,417	43,066	30,000	30,000	30,000	
		繰入金	千円		26,437		26,437					
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	296,344	273,423	365,282	314,421	427,366	410,000	389,000	389,000	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	7	7	9	9	10	10	10	10	
		延べ業務時間	時間	1,620	2,662	2,200	2,280	2,300	2,300	2,300	2,300	
トータルコスト(A)+(B)	(B) 人件費計	千円	6,408	10,493	8,764	9,035	8,764	8,764	8,764	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	302,752	283,916	374,046	323,456	436,130	418,764	397,764	389,000		

事務事業名	下水道汚水建設改良事業	所属部	水道局	所属課	下水道課
-------	-------------	-----	-----	-----	------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 計画的な事業の実施により目標値を達成することができた。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 計画的な事業の推進により目標達成の見込みあり。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 全体計画における整備率が88.42%であり、未整備地区がまだ残っていることから成果の向上余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はなく、他の手段においても本事業の成果を向上させることは不可能である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 管渠工事については、工事請負費、委託料（実施設計）であり、国庫補助金の活用や可能な限り集約して競争入札により工事発注を行いコスト削減を行っているため、事業費の削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 下水道整備（新規管渠等）は残りわずかではあるが、今後は雨水対策および老朽管路等の対策を行う必要がある。人件費の削減については、職員が他の事業と兼務で業務を行っていることから、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 応分の受益者負担があり適切である。 (受益者負担金：330円/㎡※上限額措置あり)
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 下水道管渠整備事業は環境保全のための社会資本整備であり、行政が行うべき事業である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

管渠整備事業に関しては、概ね順調に事業が進んでおり、今後も整備率100%を目指し事業を進めていく。残り僅かな未整備区域については、平成27年度に市生活排水処理構想を策定し計画的な整備を行うこととしている。なお、今後は雨水幹線整備を行い、雨水対策にも取り組みこととしている。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						